

SHIN CLUB 235

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

「元麻布の家 K邸」 撮影：アック東京

創立 20 周年を迎えました

バブルがはじけ、多くの企業、銀行が倒産した 1999 年 10 月、株式会社辰はスタートしました。主力取引銀行の破綻をうけて、8月に前身会社が倒産。その後処理に追われながら、株式会社ユニホー会長(当時)、麦島善光氏の支援を得て、渋谷宮下公園近くのビルで新しい会社をスタートさせ、仕掛り中の 17 現場の工事を完成させました。

それは、「お客様のために、工事だけは完成させなくてはならない」という「建築屋」としての意地であり、協力業者の皆様のご理解と協力、社員の犠牲の上に成り立ったものでした。

その後 1 年目、2 年目とお叱りを受けながらも、お客様、設計に携わる建築家・プロデューサーの方たちがめざすデザイン性・機能性に優れた建築をともにつくることの出来る、施工技術に特化した集団となるべく、一つ一つの仕事に愚直に取り組んでまいりました。

環境に配慮した建物、耐震性を備え可変性に耐えられる建物、地域を活性化させ、新たなまちづくりに寄与する建物、人の心を惹きつけ楽しくさせる斬新な建物。そんな魅力的な建物をつくることで、人々の暮らしに安心と潤いを与えるお手伝いができることが私たちの喜びです。

これからも弊社は、皆様とともに良い建物をつくり続けるため、情熱をもって挑戦していきます。

2019 年 10 月 1 日

株式会社辰 代表取締役 岩本健寿

元麻布の家 K邸



西側ファサード。深い庇が外からの視線を遮り、フロストガラスのテラスとグレーの外壁の間から適度な光が室内に差し込む。豊かな植栽が建物を彩る



B1F. ガレージとエントランス



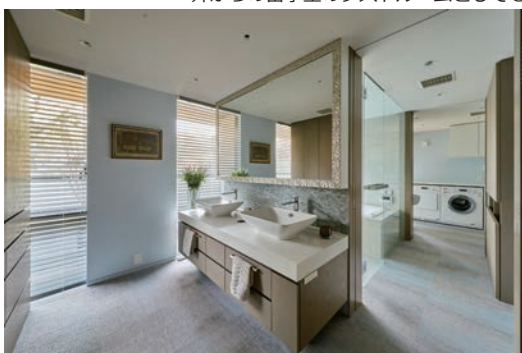
1F 書斎。葉巻を嗜み音楽を聴くご主人のための男性的なインテリア



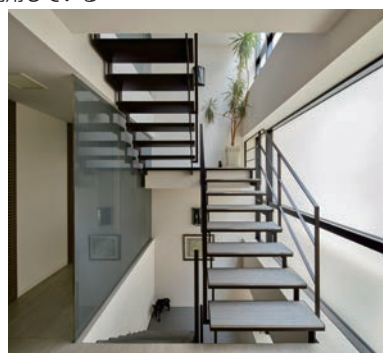
2階リビングダイニングは来客の多いK様のもてなしのスペース



2階のリビングに向かって開かれたアイランド型キッチン。ダイニング側が230mm高くなったカウンターで手元が隠れる



1階北側の洗面所・バスルーム。ご夫妻それぞれのベッセル型洗面器で身支度もスムーズに。バスルーム奥にランドリー



吹抜けの階段室は金属メッシュを挟んだガラスで外からの光を和らげている

落ち着いた採光とインテリアで ラグジュアリーな空間を生み出す

以前、別荘の設計を手がけさせていただいた K 様から、今回はご自宅の設計を依頼された。

敷地は閑静な住宅街の角地に位置しており、西側と南側の道路に面した2方向に大きく開口部を設けて、それぞれ向かい側のグリーンが視線に入ってくるように、プライバシーと採光の両立をめざした。

特に桜の借景を臨める西側の2階に南北に長いリビング・ダイニングを設け、深い軒、奥行き1.2mのテラスを通して光をふんだんに取り込みながら視線を遮る工夫を施している。

海外からの留学生をホームステイさせるなど、外国人の方との交流も多いご夫妻は、リビング・ダイニングでのおもてなしの機会が多く、キッチンの打ち合わせには時間をかけた。アイランド型で回遊性を持たせ、大容量の壁面収納は日常使いのものをカウンターのすぐ背後に、ゲスト用のものは奥に収納場所を決め、家電は使うときに引き出し、使い終わったら収納するようにしたり、キッチン脇にウォークスルーパントリーを設けたりするなど、食事の準備の動線を配慮しつつ、使用しないときは家具のような佇まいを生み出している。

全館空調を採用してご高齢の家族にもヒートショックがないよう快適性を維持している。そのためオープンな階段室になっているが、中に金属メッシュを挟み込んだガラスで囲い、紗をかけたような仕切りが東からの強い光をやわらげている。

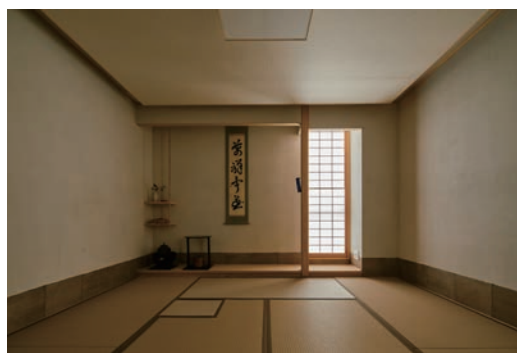
室内は、リネンのシェードを始め、グレージュを基調に都会的なおちついたコーディネートでまとめ、イタリア製のソファや特注のダイニングテーブルがさらに上質な空間をつくりだしている。

ご主人が茶道を嗜まれるため、1階北側の和室は、床の間を設け、炉を切り、茶室としても使用できる。お茶会を開かれたり、海外からのお客様のゲストルームとしても利用されている。

また書斎は、葉巻を嗜まれるご主人のため唯一閉じた空間となっており、音楽を楽しまれて音楽も聴かれるため、壁には吸音材を入れている。

横堀健一氏・コマタトモコ氏 談

所在地：港区 構造：RC造 規模：地下1階、地上3階
用途：専用住宅 設計・監理：横堀健一・コマタトモコ/横堀建築設計事務所
施工担当：堤 竣工：2017年5月 撮影：ナカサアンドパートナーズ



1階北側の茶室。茶道を楽しむご主人が茶会を開いたり、海外からの留学生のゲストルームとしても利用している

「そのままお使いください」という所まで

横堀健一・コマタトモコ／横堀建築設計事務所

Kenichi Yokobori, Tomoko Komata



田園調布の事務所にて 撮影：アック東京

今月は「元麻布の家 K邸」の設計者、横堀健一氏とコマタトモコ氏にお話を伺います。2年前に建てられた、田園調布の素敵な自宅兼事務所にお話を伺いました。

—お二人ともアルド・ロッシの事務所のご出身でしたね。

横堀：私は、ロッシの日本事務所がスタートした時に入りました。その前は内田繁さんの事務所「STUDIO80」のまちづくりなどの部門に勤務していました。内田さんがロッシと設計事務所を提携することになり、私たち建築部門のスタッフがそちらに移ることになったのです（隣のビルでした）。内田さんのプロデュース、ロッシの設計で初めて実現したのが福岡の「イルパラッツォ」でしたね。

コマタ：私は内田さんの事務所のオープンデスクで仕事を始め、スタッフにさせていただくことになった時に、ロッシの事務所のお手伝いすることになりました。内田先生の事務所では夫婦になっているスタッフが実は多いんです（笑）。10組はいるかしら。

—ロッシの作品は日本にも結構あるのですね。

横堀：ええ、バブルの頃は計画がとて多かったですね。バブルがはじけて多くのプロジェクトがとん挫してしまいました。

—それに知らなかったのですが、ロッシ自身が1997年にミラノで交通事故で亡くなっているんですね。66歳、若いですね。

横堀：ええ、それで東京事務所は閉じられました。

95年に独立しましたが、当初は内田さんの事務所から仕事をいただき、少しずつ自分達でも仕事を取れるようになっていきましたね。

—でもロッシの事務所です仕事をしていたという強みはあったでしょう。

横堀：そうですね。最初に取れた仕事というのが、奥様がドイツ人の方の住宅でした。それまでもヨーロッパ的な空間の考え方はロッシのところで勉強していましたが、この方との家づくりが大変勉強になりました。一般教養としての建築のレベルが非常に高いんです。素材、設備、機械のこと、本当に詳しくかったですね。

コマタ：シックハウス症候群とか環境問題に詳しく、選ばれる素材が日本人のお客様と全然違うのです。自然素材のものを、オイルフィニッ

シユで仕上げる。意識が全く違いました。また、日本の伝統工芸品を上手に洋の空間に取り入れられていました。その時が、私たちも日本の素材や伝統的なものを日常に使えるような心掛けをしたいと気がついた時期でした。

横堀：モノが朽ちて経年変化していくことを大前提として受け入れられている。スタート地点がまず違うんです。私たちが引き渡し後、残念なことにならないように植栽、アート、全て「そのままお使いください」というところまで作りこみ、お客様と長いお付き合いができるような事務所として生き残っていきたく考えるようになりました。

—お客様ご紹介が多いのですか。

横堀：そうですね。事務所ができて来年で25年、そろそろ2件目というお客様も多いです。また個人病院、産婦人科の設計も10件ほど行っていますが、建てた医院の半分くらいが増設、もう1棟という話をいただいています。

コマタ：この少子化の時代にうれしいお話です。産婦人科も今や女性だけの空間ではなく、男性も育児に参加される意識が高いので、ホテル滞在型であったり、男性が立ち会う場としての新しい空間を提案しています。お客様が独立されてリノベーションを、というお話も多いです。

横堀：基本的に打ち合わせは我々とお客様ご夫妻と4人で行います。片方の意見だけでいくより、1度でもいいから、皆で話し合ったというプロセスが大事ですね。

コマタ：満足度、納得度が違うのです。

横堀：事務所がこの建物になってから、セミナーも2回開催しました。自分達の考え方、実績、建物づくりについて、実際の空間をみて頂きながらレクチャーできるようにになったのがいいですね。

コマタ：きちんとした建物はいつまでも残ってほしいと思います。それには土地所有の考え方も変えていかないと。イギリスでは、女王の土地を借りているという意識が普通ですが、日本は土地を自分だけのモノと囲い過ぎている気がします。横堀は今、ヘリテージマネージャーという資格を持っているのですが、どんな素晴らしい建物でも、個人の方が所有していくには厳しく、取り壊されてしまうことも多いです。

横堀：資金調達のストーリーをきちんと作ってあげて、地域と密着した建物を作ることが役目です。相続放棄になって空き家が増えることはなるべく避けたいものです。

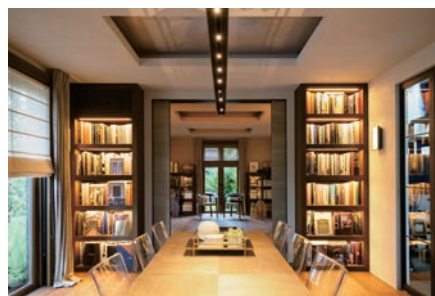
—本日は、どうもありがとうございました。

横堀健一 (よこほりけんいち)

1960年 石川県生まれ
1986~'88年 マイアミ大学建築学科留学
1988~89年 STUDIO80 勤務
1989~95年 アルド・ロッシ建築事務所勤務
1991年~ ICS カレッジオブアーツ講師
1995年 横堀建築設計事務所設立
2002~06年 桑沢デザイン研究所研究所講師
2017~ 金沢大学非常勤講師

コマタトモコ

東京都生まれ 聖心女子学院英語専攻科卒業後
1988年 ICS カレッジオブアーツ卒業
1990年 桑沢デザイン研究所スペースデザイン科卒業
1993年 早稲田大学芸術学校建築設計科卒業
1992年~95年 アルド・ロッシ建築設計事務所勤務
Master at KLC school of Design 修了
2011年~ICS カレッジオブアーツ講師



写真上：田園調布の新事務所。建築の洋書が並ぶ本棚。天井に埋め込まれたカーテンレール、取り外し・交換可能な建具の表面など仕掛けが満載。

写真右：4つのシンプルなブロックからなる2階建て建物の中央に位置する吹き抜けの階段室にて



創立 20 周年記念パーティ開催 2019 年 10 月 1 日 (火) 於 : セルリアンタワー東急ホテル

10 月 1 日、創立 20 周年を迎え、記念パーティを開催いたしました。

1999 年、前身会社の倒産より新たに生まれた株式会社辰は、一から出直すこととなり、これまで苦難を重ねてこまごまやってきました。

この 20 年を振り返りながら、更なる飛躍を願い、岩本新社長の下、社員とご家族に感謝の気持ちを表す機会として、今回内々ではありますが、祝宴を催すこととなりました。

当日は、(株)ZEN ホールディングスの小林憲司代表取締役、各務善胤(株)ユニホー取締役東京支店長、高橋明池田建設(株)取締役工事本部長、伊藤健池田建設(株)取締役管理本部長、平塚一之(株)ライフポート西洋代表取締役、西村英樹(株)西洋ハウジング代表取締役、古牧仁(株)西洋ハウジング取締役東京支店長、増岡研介弊社顧問弁護士ご夫妻、田中新吾

弊社顧問税理士、河内よしい弊社顧問社労士、羽田碩幸元竹中工務店専務を来賓にお迎えし、辰建設創業者故松村慶文氏奥様の松村美保子様、松村拓也元辰建設社長列席の下、増岡研介氏の乾杯の発声でスタートいたしました。

また、この機会にこれまで SHINCLUB でご紹介させていただいた作品を中心にまとめた「作品集」を制作し、記念にお持ち帰りいただきました。

祝宴は、社員相互に家族を紹介しあうなごやかな歓談が進む中、10 年、15 年、20 年の勤続表彰に続き、新年度の内定者の紹介と内定書授与。昨年社長を退任された森村会長、名古屋取締役両夫人への花束贈呈、最後にこの 20 年、二人三脚で経営を支えた名古屋取締役に森村会長から感謝の花束を授与し、閉会となりました。



地下 1 階ボールルームにて開催



岩本社長の挨拶で祝宴スタート



名古屋取締役夫人、岩本社長、森村会長夫人



20 年勤続表彰受賞者。左から、高島洋、窪田幸夫、宮島利夫、間瀬昭雄、夏井広幸、(岩本社長)、讃井隆浩、菊野修、畠中広隆、鯨津忠行、中村勇行、若井定昭



10 年勤続表彰は岩本社長を間に、竹原(左)田所(右)



15 年勤続表彰は岩本社長を間に、佐々木(左)、村山(右)



森村会長(左)より名古屋取締役(右)へ花束を贈呈



会長夫妻に成長した子供たちを紹介する社員



最後に内定者も加わり、全員集合で記念撮影。楽しい会となりました

「(仮称) マスミコビルプロジェクト」 上棟式 2019 年 9 月 6 日



楽しい上棟式になりました。

構造 : RC 造
規模 : 地上 5 階
用途 : 事務所・住宅
設計・監理 : アーオ建築事務所 + SHOKO NISHIMOTO
完成予定 : 2019 年 11 月

「(仮称) 弥生 2 丁目マンション計画」 地鎮祭 2019 年 9 月 17 日



ご家族念願の住宅を建築させていただきます。

構造 : RC 造
規模 : 地下 1 階、地上 5 階
用途 : 共同住宅
設計・監理 : リバックス建築環境計画
完成予定 : 2020 年 8 月

編集後記

・「元麻布の家 K 邸」は 2017 年竣工でしたが、撮影の関係で今回やっとご紹介の機会を得ることが出来ました。横堀建築設計事務所の新事務所は、インテリアのいろいろなアイデアが活かされた素敵な建物でした。セミナーなどの機会をぜひご利用ください。

(株)辰 通信 Vol.235 発行日 2019 年 10 月 10 日

編集人 : 松村典子 発行人 : 岩本健寿

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-8-10 JS 渋谷ビル 5F TEL:03-3486-1570

FAX:03-3486-1450 E-mail : daihyo@esna.co.jp URL:http://www.esna.co.jp

建築屋



「SHIN CLUB」は WEB 上でもご覧いただけます。

バックナンバーも PDF で掲載しています。スマホはこちらから →

